



# 介護福祉の専門性と評価についての研究

保健福祉学部 人間福祉学科  
准教授 國定 美香（くにさだ みか）

連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 4531 号室  
Tel 0848-60-1120(代表)  
E-mail kunisada@pu-hiroshima.ac.jp

専門分野： 介護福祉

キーワード： 介護福祉・介護保険・高齢者介護

## ● 現在の研究について

福祉サービスを利用するご本人およびそのご家族が必要とする質の高いケアについて、保健医療福祉専門職の視点から研究をしています。

近年、介護福祉職の人材不足は、深刻な社会問題となっています。社会的な対策として、2008年には「介護従事者等の人材確保のための介護従事者等の処遇改善に関する法律」が成立し、介護福祉職の適正な給与水準の確保をはじめとする労働環境改善が検討されました。しかし、抜本的な改革に結びついていないのが現状です。介護福祉職の労働環境を改善することは、最終的に福祉サービスを利用するご本人およびそのご家族への質の高いケアの提供につながるものであると考えられます。

介護福祉職による介護福祉のあり方は、利用者の生活全体を総合的に支える全人的アプローチであると論じられています。介護福祉の実態について調査研究を実施することで、実践的な専門性についての検証が求められています。また 2002年から制度化された「小規模生活単位型介護老人福祉施設（新型特別養護老人ホーム）」をはじめ、介護保険施設では新しいケア形態であるユニットケアが導入されています。このユニットケアを展開しているユニット型介護保険施設について、ハード面のみでなくソフト面におけるケアのあり方について検証する必要があります。そこで、ユニット型介護保険施設におけるケアの特徴を明らかにすることが求められます。さらにユニッ

ト型介護保険施設と既存の従来型介護保険施設のケアを比較し検討することも重視されています。

以上のように、介護福祉の実践的な専門性について研究することにより、介護福祉に対する社会的な評価を高め、介護福祉職の労働環境を改善し、さらには労働環境の改善と福祉サービスを利用するご本人への質の高い介護福祉が提供できることの関係性を明らかにしたいと考えています。

## ● 今後進めていきたい研究について

介護福祉専門職の労働環境を改善し、質の高い介護福祉が提供できることの関係性を明らかにしたいと考えています。そして、福祉サービスを利用するご本人の尊厳を支えられる介護福祉の実践が展開されることが期待されます。

そこで、これまでの研究（関連する論文については、以下の通り発表しています。①「介護保険施設の介護職員における介護時間の評価 ―介護支給時間から介護労働時間と非特定介護時間の比較―」厚生労働省の指標. 第 57 巻 2 号. 2010 年。

②「介護老人福祉施設の介護業務における介護労働時間とその負担度と達成度に関する研究」日本保健福祉学会誌. 第 17 巻 1 号. 2011 年 等）を継続し、展開していく予定にしています。

## ● 地域・社会と連携して進めたい内容

介護を受けている人及びそのご家族が、居心地の良い環境であるために、地域と協力し連携していくことが大切であると考えられます。

## ● これまでの連携実績

これまで、地域の介護職員への研修や、介護保険施設における研修、公開講座等の講師を行っています。